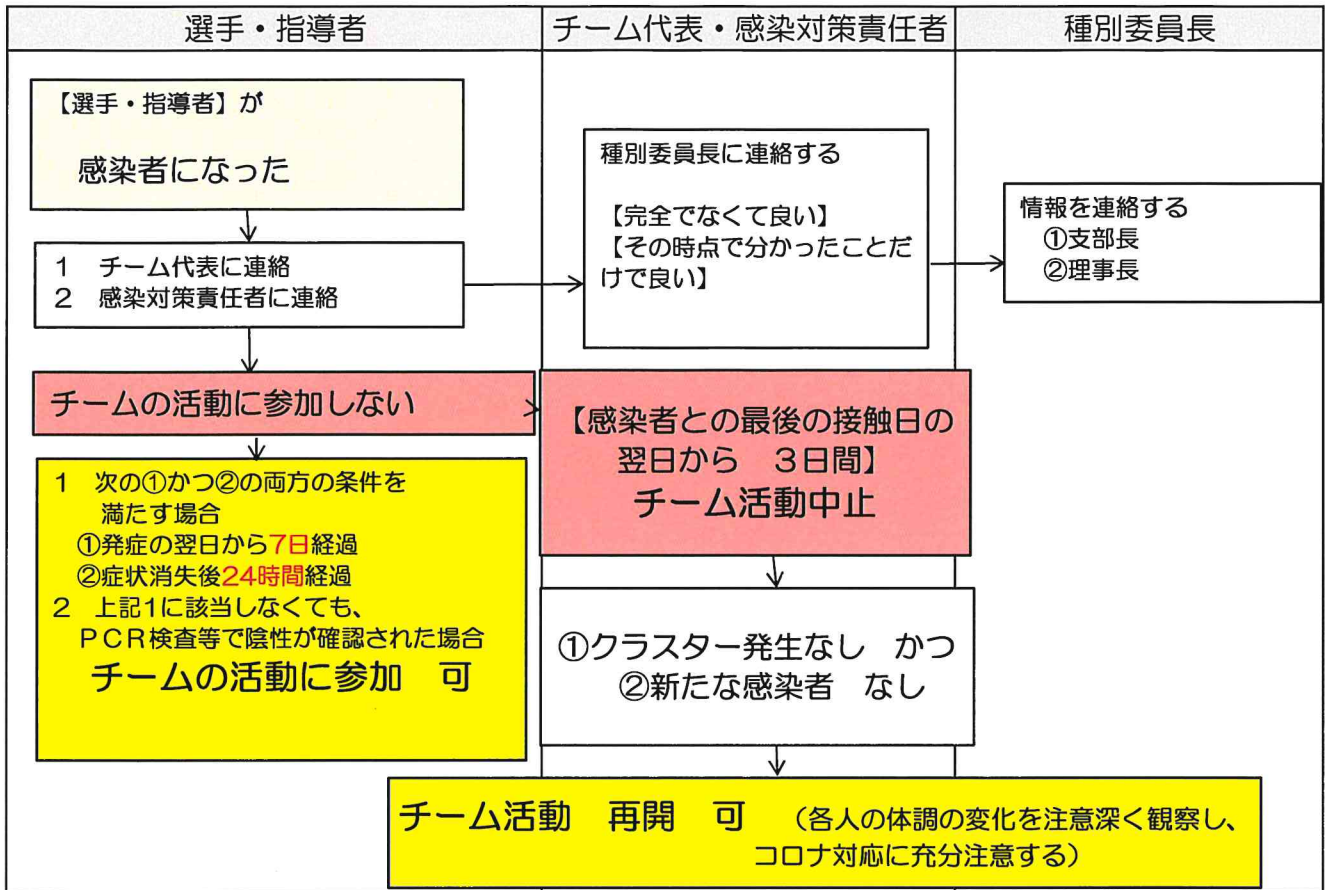
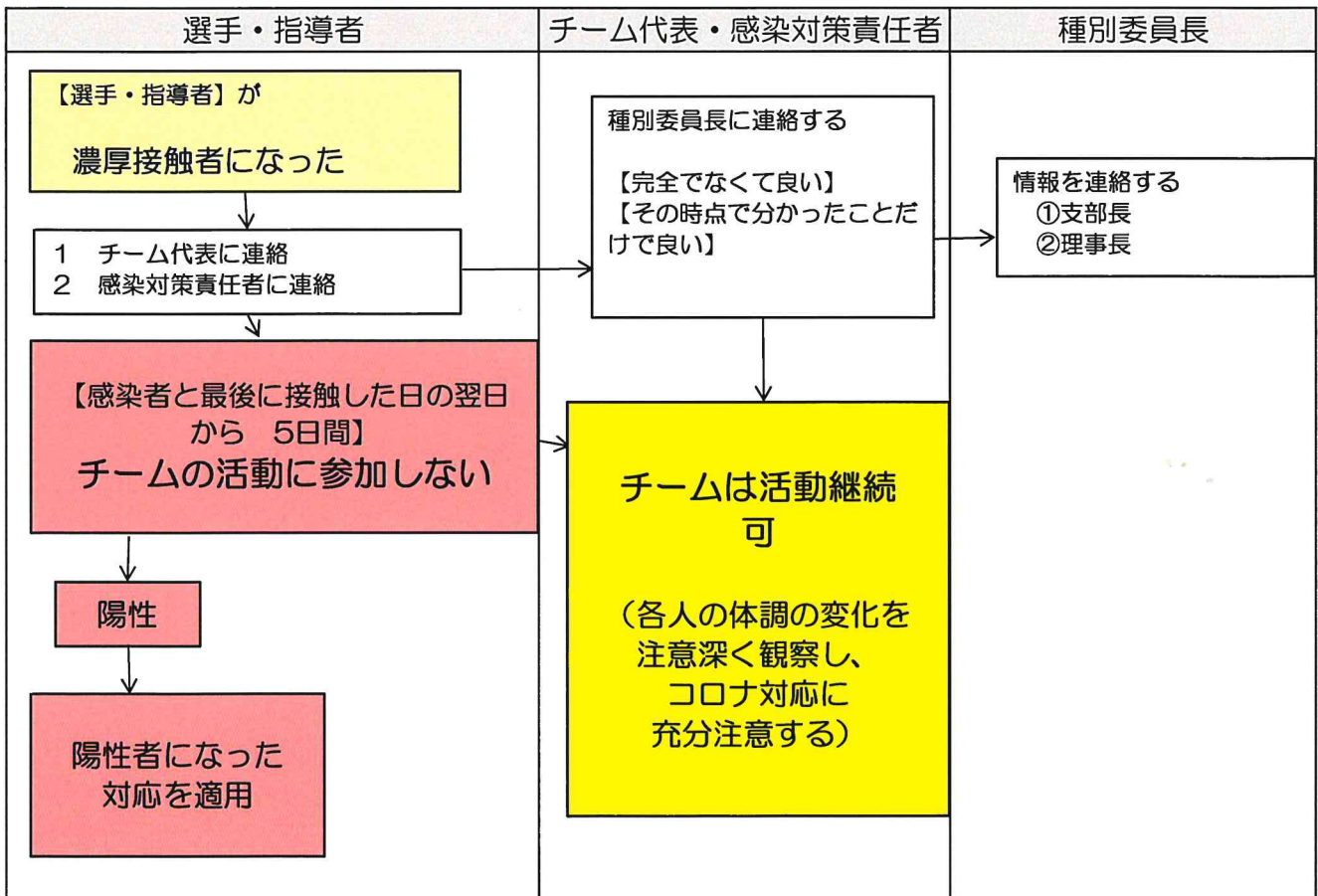


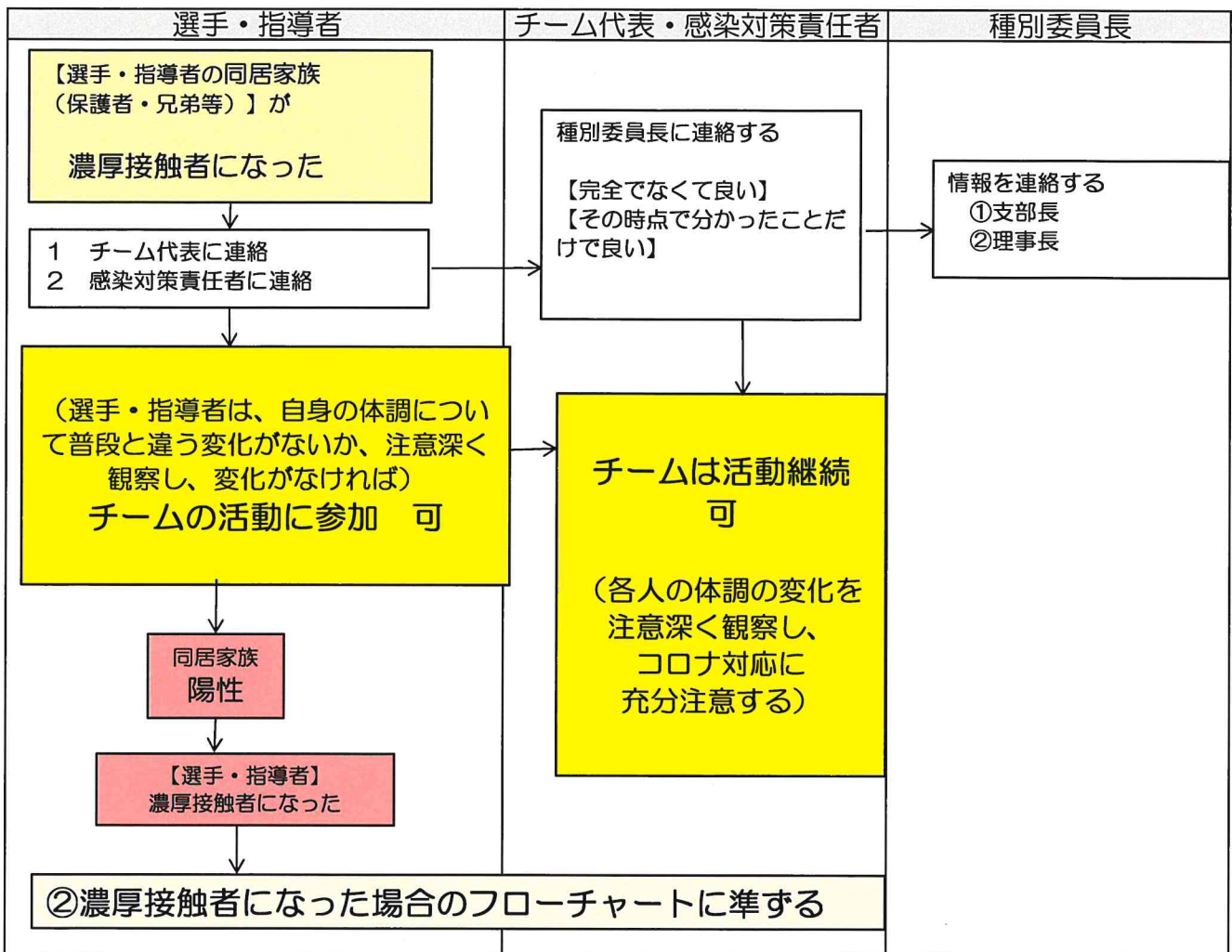
①コロナウイルス感染の陽性者になった場合の対応



②コロナウイルスの濃厚接触者となった場合の対応



③同居家族が濃厚接触者になった場合の対応



体調が良くない場合・コロナ感染が心配される場合は、勇気をもって参加を見合わせましょう！
コロナ感染対応について、上記フローチャートとは別に、職場・学校等の「更に慎重な基準」がある場合は、それを適用して下さい。

【参考資料】濃厚接触者の特定を各チーム等で行う必要がある場合は、次の判断目安を参考にしてください。

濃厚接触者（相当）の判断目安 【参考】

以下の場合には「濃厚接触者（相当）」として判断することが可能です。

陽性者と、感染可能期間中（発症日の2日前（無症状の場合は検体採取日の2日前）から最終接触日までの期間）に接触した者のうち、陽性者との関係において、次のいずれか該当する者を濃厚接触者（相当）として判断する。

- ①マスクをしないで（鼻出しマスクやあごマスク等、正しく着用していない場合を含む）1メートル以内で15分以上の接触があった場合
- ②会話しながら一緒に飲食を行った場合
- ③換気が悪い車内で30分以上一緒に過ごした場合
- ④換気が悪い部屋（空間）で30分以上、ミーティング等を行った場合
- ⑤会議や講習会等での座席が陽性者の両隣・前・斜め前（左右）に位置する場合（1日のうち、半日以上、その位置で陽性者と一緒に過ごしていることを想定。）

※陽性者が咳・くしゃみをしていた場合は、同じ空間にいた者は感染リスクが高いため、上記によらず濃厚接触者になる場合がある。